

## 監修者推薦の言葉

毎年、10代の子どもたちの500人以上が自殺しています。いじめが背景にある自殺ばかりが報道されると、子どもの自殺が、さまざまな原因からなる複雑な現象だということが見えにくくなります。自殺の背景には、いじめだけでなく、子どもの抱えるストレス、心の病、家庭的な背景、独特の性格傾向などといった要因が潜んでいます。複雑な背景をさぐってこそ、自殺の実態に迫ることができ、予防にもつながります。

子どもであっても、うつ病になる率は、決して低くありません。心身ともに発達過程にある子どもは、落ち込んだ気分を大人のように、言葉で表現できないことも多く、イライラしたり、「頭が痛い」、「しんどい」といった身体症状として訴えます。では、子どもの身近にいる親や教師は、うつ病などのさまざまな自殺のリスクを抱えた子どもと、どう向きあったらよいのでしょうか。このビデオは、うつ病の早期発見や対応のあり方などを紹介しながら、子どもの自殺予防について、一緒に考えていくためにつくられました。教育現場などで、自殺予防について考える際のヒントにしてほしいと思っています。

文部科学省・児童生徒の自殺防止に関する調査研究協力者会議委員  
臨床心理士 四天王寺学園小学校教諭 阪中 順子

## 作品概要

## ■死にたいと思ったことのある小・中学生は約4割

ある調査では、死にたいと思ったことのある小・中学生は全体の4割にも達した。子どもの自殺の原因に「うつ病」が潜んでいるケースが少なくないことが、最近、分かってきた。

## ■上昇する子どもの自殺率

毎年300人前後の中・高校生が自殺で亡くなっている。どのようなことが自殺の原因になっているのだろうか。

## ■子どもの自殺・その原因

子どもの自殺の原因は様々で、性格傾向、衝動性、人間関係、それにストレス、うつ病など心の病などが複雑に絡み合っていると考えられている。最近では特に、子どものうつ病に注目が集まっている。

## ■子どもの自殺・その兆候

子どもを自殺に導く危険因子には、自殺未遂・自殺関連行動・心の病・安心感の持てない家庭環境・独特の性格傾向・喪失体験・孤立感などがある。特に自殺未遂、自傷行為、薬物の服用は危険度が高い。

## ■青年期の若者の8%がうつ病

今や子どもの1~2%、青年期の若者の8%がうつ病だと言われている。精神科医は「子どもは、うつ病になった場合、大人のように言葉で表現できず、身体的症状で訴えるのが特徴」と訴える。不登校、学習障害、摂食障害の影にうつ病が隠れていることも少なくない。

## ■「死にたい」と訴えられた時は?

「死にたい」と訴えられた教師や親は、どのように対応すれば良いのか?その対処法を再現映像を交えて解説する。訴えられた大人は問題を一人で抱え込まないことも重要だ。

## ■子どもの自殺防止の取り組み

学校側は子供の悩みや苦しみを受け止める仕組みを整え、自殺の危機には、チームで対応し、情報を共有し、外部の専門機関とも連携することが必要である。

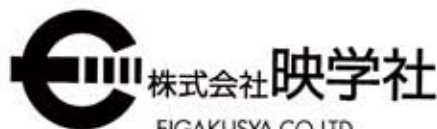
監修 文部科学省・児童生徒の自殺防止に関する  
調査研究協力者会議委員 臨床心理士  
四天王寺学園小学校教諭 阪中 順子

企画・制作統括	高木 裕己
プロデューサー	宇田川 東樹
脚本・演出	岩永 敏明
撮 影	君 武
制作・著作	株式会社映学社

## ●価格 (VHS・DVD・23分)

- ・ライブラリー価格 ¥68,250 (税込)
- ・学 校 価 格 ¥34,650 (税込)
- ・2011年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……



EIGAKUSYA CO., LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル  
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024  
<http://www.eigakusya.co.jp/>